

働き続けられる職場ですか？

国労東北自動車支部

**改善
急務**

8月26日、NHK「クローズアップ現代」で「突然バスが暴走！見過ごされる運転手のリスク」が放送され多くの皆さんが視聴されたのではないのでしょうか。
番組では4年間（平成21年～24年）でバス運転手の健康状態に起因

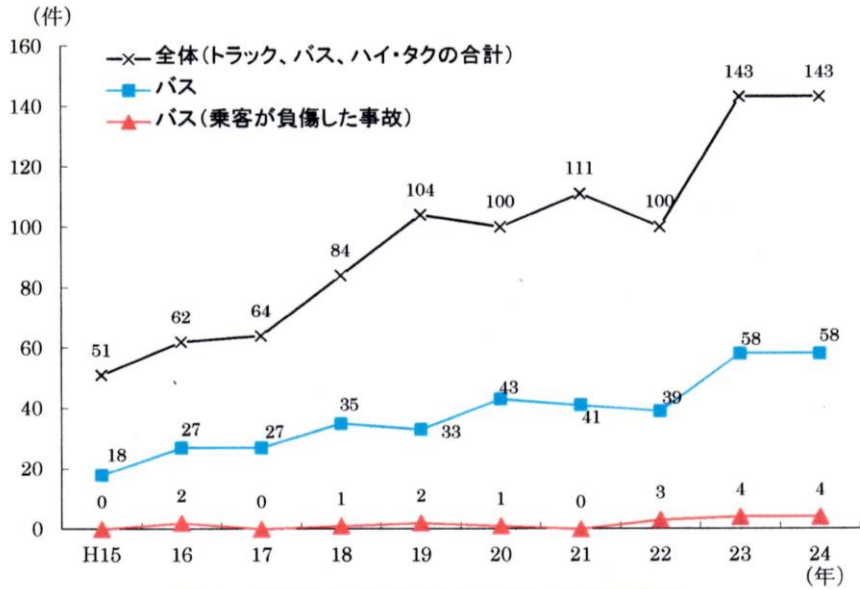


図1 健康起因報告事案の発生状況の推移

平成24年東北管内事故概要

- めまい、手足のしびれ(32歳)
乗務継続中止。
- 意識消失発作(61歳)
右折時に気を失い速度標識に衝突した。

平成25年東北管内事故概要

- 脳内出血(57歳)
赤信号で停止し、青信号になったが発車しなかったため乗客が運転者を確認したところ意識もうろうとした。
- 高血圧症による自律神経失調症(48歳)
高速道路SAで運転者が体調不良により乗務継続中止。

原因は長い拘束時間と不規則勤務

する事故が196件と大きく取り上げられています。
国交省では重大事故(死者や10人以上の負傷者のあった交通事故等)に加え、運転者の疾病発症のより運行の取りやめ・中止を行った事案について自動車事故報告規則で報告を求めています。図1が示す通り年々

増え続け、特に2000年の規制緩和以降3倍以上増加しています。
「死の四重奏」と言われる「高血圧・糖尿病・高脂血症・肥満」が全産業より多く、運送業の特徴である深夜を含む不規則労働は脳や心臓の重大疾患が多いことも常に指摘されています。

発病を防ぐには十分な休息時間が必要です。裏を返せば拘束時間の短縮です。交番作成上の39時間30分や8時間ギリギリの休息時間でも問題ないと会社は言いますが、私たちの身体は疲弊しています。転勤による二重生活や通勤によるストレスの増大、低賃金であるがために一食をカップ麺で済ませる生活は人間らしい生活とは言えません。
乗客の命を守るのは私達です。ダイヤ改正に向け要求集約し改善していこう！

発 責
北山修司
編 責
教 宣 部
NO,40
2014.9.6

国労加入
で職場を
変えよう

9/25 冬季ダイヤ改正
提案団交予定